



## 集まれ！地球の仲間たち（6年生：総合）

11月28日（金）に6年生が、総合的な学習の時間に青年海外協力隊の方々からお話を聞きました。ザンビア、セントビンセント、トンガでの様子について伺うことができました。以下は、6年生の感想です。

### 【ザンビアについて】

今まで全く聞いたこともない国、ザンビアのことを知って、今の時代にも苦しんでいる子どもたち、大人たちがたくさんいるんだなと思いました。そして、ザンビアだけでなく、他の国のトンガやセントビンセントにもあると思えば、私たちにできることは何か、日頃から気を付けておくことがあると思います。残食をしないようにしたり、今の世界の実態を知ったりすることも大切だと思います。そして、びっくりしたことは、ザンビアの小学校では、留年があることです。食べ物では、トウモロコシの粉でできている「シマ」や地域によっては虫なども食べると聞いて、日本との違いを感じました。最後に、ザンビアのお話をしてくださいったり、いろいろな質問に答えていただいたりしてありがとうございました。地球や世界のことを考えるためのよい勉強になりました。



### 【セントビンセントについて】

セントビンセントの学校の雰囲気を感じ取ることができました。山を下る途中で、30人が3人になってしまったお話を聞いて、この学校はまだ「学校の授業を受けないといけない」という暗黙のルールがなくて、緩い雰囲気なんだなということを感じ取りました。セントビンセントの人々のフレンドリーな面といい加減な面を知ることができて、その一つ一つのエピソードがとても面白かったです。「人によいことをすることが、いつの間にか自分のためになっていた」ともおっしゃっていました。講師の方は、セントビンセントを助けるために行って、自分が救われたそうです。私は、青年海外協力隊に入るほど、すばらしいことはできません。だから、生活で困っている人から「人と自分助け」を始めたいと思います。



### 【トンガについて】

私は、講師の方のお話を聞いて、トンガについていろいろなことを知ることができました。まず、トンガはフレンドリーアイランドと言われるほど、フレンドリーだということや、知らない人には笑顔を見せないということが分かりました。また、トンガには、川も山も水道もないということを聞き、びっくりしました。そんなトンガには、給食がなく、2食しか食べないそうです。1日3食で、いつも給食を食べている日本とは大きな違いがありました。そして、トンガのソウルフードのことについても教えてくれました。ウム料理のルーや、オタイカ、ケケなどがあることが分かりました。どれもおいしそうでした。また、グリーンバナナも普通のバナナと味が違うと聞いたので食べてみたいです。講師の方は、最後に「偏見や垣根を感じず、何事も積極的に取り組みましょう」とおっしゃっていました。私も、見た目だけで判断せず、周りに目を向けて自分ができることを考えながら過ごしていきたいと思いました。



【ザンビア】  
国名は、アフリカで4番目に長い「ザンベジ川」に由来。



【セントビンセント及びグレナディーン諸島】伝統産品のバナナを中心とする農業に加え、1980年代半ばから急速に開発が進められた観光業が中心。

### 【トンガ王国】面積は 720 km<sup>2</sup>で対馬とほぼ同じ。

※情報はキッズ外務省HPより

子どもたちは、青年海外協力隊の方々のお話を聞くことで、視野を広げることができました。感想の中にもありました、「知ること」「知ろうと思うこと」が大事です。人が一人では生きることができないことと同じように、国も他の国々と良好な関係を築くことが必要だと思います。以前、高山良二さんに地雷処理や地域復興支援のお話を聞いていたことや社会科で学習したことなどと関連付けながら、一人一人がどのような国際親善ができるのかを考えることが、今回の学習のめあてになります。

## 防災学習会で学んだこと(5年生)

47号でお伝えした11月25日(火)に5年生が行った防災学習会の感想を紹介します。子どもたちの防災意識が少しでも高まったのではないかと思います。私たち大人が、日頃の備えを怠らないようにしなければなりませんね。

災害について深く考えられたのでよかったです。水中歩行では、全然進めなかつたので、早めに避難しようと思いました。  
土砂災害についてよく分かりました。



いろんな災害から、命を守るためにできることを知りました。早めの避難や避難場所をみんなで確認することが大切だということが分かりました。



砂防学習会をして、自分を守る大切さを学びました。

防災マップで自分の家が何も色がついていなくてよかったです。早めの避難を心掛けたいです。

大雨の体験をして、思っていたよりも雨が強くてびっくりしました。家に帰って家人とよく話し合いたいです。

避難するときに持ち出す物を準備してなかったので、いつでも何が起きても避難できるようにしておきたいです。

土砂災害が起きたときの対策などを教えてもらったので、災害が起きたときに備えて避難する場所を確認したり、非常食を準備したりするようにしたい。



降雨体験で雨の怖さを知りました。あの雨がずっと降り続けると恐ろしいと思ったので早めに避難を始めるようにしたいです。

180ミリの雨はとても強くて驚きました。水の深さが50cmくらいになると、7.5kgの重さが足にかかり歩くのが大変なことが分かりました。